

中堅社員研修 ~コミュニケーションとチームワーク~

対象者：中堅社員

I. 研修の目的

フォロワーシップと後輩社員に対する指導やコミュニケーションに関する研修を実施することにより、中堅社員としてチームで仕事をする上で重要なポイントを学び、チームで協力して業務を推進する手法を身につける。

2. 研修内容（午前）

| 内 容 | |
|------|--|
| | <p>1. プレリーダー層として求められる期待と役割 【講義】</p> <ul style="list-style-type: none">● 周囲との連携なくして“パイプ役”は務まらず「4つのスキル」● フォロワーシップとリーダーシップ <p>2. 提案・主張を必要とする場面に強くなる ~アサーションスキルを身に着けよう~</p> <p>【講義・個人ワーク・グループワーク】</p> <ol style="list-style-type: none">1) アサーションとは何か2) アサーションが使える場面とは?3) 自己主張3つのタイプ4) アサーションの基本と活用場面 <ul style="list-style-type: none">● 感情を上手く言葉に変換してみよう <p>【初級ワーク：感情の変換をしてみよう】</p> <ul style="list-style-type: none">● 自己表現にはI(アイ)メッセージを使おう <p>【事例を使ったワーク：自分の意見を伝える】</p> <ul style="list-style-type: none">● 嫌われたくない感情から抜け出すには? <p>【中級ワーク：スマートに断ろう】</p> <ul style="list-style-type: none">● 感情を「表出する権利」と「表出しない権利」について <p>3. 企画・提案力をさらに磨く ~信頼を得る話法とトレーニング~</p> <p>【講義・個人ワーク・グループワーク】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 話をまとめる力があれば、調整時に自信が持てる。<ul style="list-style-type: none">● まとめ上手は、調整上手● 事前にまとめる(準備)ことから始めよう2) 生産性を上げるためにコミュニケーションルール3) 会話のムダを整理するくせづけ～「3つのS」 【ワーク：3つのSを使って分かりやすく】4) 相手が安心し納得しやすい話し方とは?5) イエスバット方式よりスマートなワンフレーズ |
| 9:00 | 12:00 |

2. 研修内容(午後)

| 内 容 | |
|-------|--|
| 13:00 | <p>4. 後輩とのコミュニケーションルール ~ 聴くスキル~</p> <p>【講義・個人ワーク・グループワーク】</p> <ol style="list-style-type: none">1) コミュニケーションエラーをいかに減らすか<ul style="list-style-type: none">● コミュニケーションエラーを防ごう2) ティーチングとコーチング<ul style="list-style-type: none">● ティーティングとコーチングの違いを考えよう● 後輩の目線で考える理想の先輩は3) 傾聴のスキルがコミュニケーションの基本【ワーク:傾聴】4) タイプ分けと他者理解<ul style="list-style-type: none">● 「タイプ分け」から分かること【ワーク:タイプ分け】● 人の「得たい4つの感情」を理解する● 外的コントローラー(ボスマネジメント)にならないために● 相手が得たい感情を後押しする |
| 16:30 | <p>5. コーチングの実際 ~質問・承認のスキル~</p> <p>【講義・個人ワーク・グループワーク】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 質問のスキル<ul style="list-style-type: none">● 先輩力の最たるものは問題解決力● 問題解決力を飛躍的に高める質問のスキル● 問題解決のストーリー図を使って【ワーク:質問から導く】2) 承認のスキル～褒めれば動くは間違い?!～3) 叱らなければならない時の3つのポイント<ul style="list-style-type: none">● Iメッセージで伝える● 失敗には「あなたらしい」● 期待は「リクエスト」で伝える4) 行動へつなげる魔法の声掛け<ul style="list-style-type: none">● 認めるから「勇気づける」へ● 即座に声掛け～5つのタイミング「ありがとう」～ <p>6.まとめ ~職場での実践に向けて～ 【講義】</p> |